

## ERE information

Vol.26 2014年9月11日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

## Contents

- ▶第26回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を下回る
- ▶第21回「大学対抗戦」  
福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B経済学愛好会」が2度目の優勝  
・ERE試験の知識を大学編入試験に活かして（優勝チーム 夜久昂平さん）  
・同じ目標を持つ者同士の団結を深めることを目的に（準優勝チーム 中村天平さん）  
・学ぶことの楽しさを再認識できた受験勉強（個人賞トップ 高野美保さん）
- ▶第22回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶委託会場制度の利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第27回ERE実施要領

## 《第26回経済学検定試験》

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに  
前回平均点を下回る

2014年7月6日（日）に実施いたしました第26回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,422名でした。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を39.3点下回りました。財政学の平均点が前回の平均点を19.8点上回りましたが、他の科目が前回を下回ったことが要因で平均点が低下しました。

EREマイクロ・マクロも前回の平均点を3.4点下回りました。マイクロ経済学が前回の平均点を上回ったものの、マクロ経済学は前回を下回っています。

## 《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	106.0点	103.0点	68.3点	33.8点	36.0点	28.7点
(前回)	111.2点	129.1点	48.5点	40.7点	46.4点	39.1点
標準偏差	36.65	39.08	17.05	17.33	17.22	14.96
(前回)	47.55	40.17	22.67	19.69	18.16	21.55

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	100.8点	96.1点
(前回)	96.8点	103.6点
標準偏差	41.90	34.73
(前回)	39.76	35.64

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	74名	1,348名
受験者数	47名	1,093名
平均点	375.7点	197.0点
標準偏差	108.72	68.57
最高得点	700点	440点
最低得点	220点	40点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	126	17	長崎県立大学	18
2	青山学院大学	79	17	専修大学	18
3	龍谷大学	75	17	久留米大学	18
4	中央大学	62	20	大分大学	17
5	愛知大学	53	21	旭川大学	15
6	麗澤大学	50	22	宇都宮大学	14
7	日本大学	49	22	明治大学	14
8	弘前大学	27	22	九州共立大学	14
8	創価大学	27	22	九州産業大学	14
10	長崎大学	26	26	名古屋学院大学	13
10	岡山商科大学	26	27	高崎経済大学	12
12	福島大学	22	27	東京国際大学	12
12	広島修道大学	22	27	立命館大学	12
14	熊本学園大学	21	30	金沢大学	11
15	立正大学	20	31	神戸国際大学	10
16	関東学院大学	19	32	小樽商科大学	5
			33	新潟産業大学	3
				個人申込み	498

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	明治大学	政治経済学部	大沼英明	S
2	熊本学園大学	経済学部経済学科	坂本竜之介	S
3			清水邦敏	A+
4	東京都	福祉保健局	永谷昌也	A+
5	岩井コスモ証券(株)	内部管理部		A
6			松永許揮	A
7	和歌山大学	経済学部経済学科	岸本天翔	A
8	前川公認会計士事務所	所長	前川克博	B+
9			松澤文太郎	B+
9			寺崎愛知	B+
9	熊本学園大学	経済学部	北原悟志	B+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
12			齊 藤 雅 子	B+
12			小早川 大 輔	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			卓 舒 芸	S
2			白 諾 文	S
2			YANG WENWEN	S
4				S
4			唐 申 涛	S
4				S
7			SUN YUANTAO	S
8	福島大学	経済経営学類	高 野 美 保	S
8	青山学院大学	経済学部	及 川 大 輔	S
8			平 尾 忠 嗣	S
11			FU Q I A O	S
11			郭 小 慧	S
11			周 磊	S
11			神 田 洋 史	S
11			大 木 健 輔	S
11	専修大学	文学部	中 村 天 平	S
17			劉 佳 寧	S
17			孫 希 楠	S
17			陳 芸	S
17				S
17	創価大学	経済学部	黒 川 誠 一	S
22	小樽商科大学	商学部	工 藤 宏 恭	S
22			李 て つ	S
22	城西国際大学			S
22			西 田 寛	S
22			鈴 木 雅 斗	S
22			ト ウ キ ン	S
22			井 上 寛 樹	S
22	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	夜 久 昂 平	S
30	東北大学	経済学部	伊 藤 健 太	S
30	千葉銀行		清 野 純	S
30			馬 文 昱	S
30			坂 倉 伊 織	S
30	神戸大学	経済学部	浮 田 陽 一	S
30	広島大学	経済学部	高 取 恒 介	S
30	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	山 内 隼 秀	S
30	大分大学		高 木 涼 太	S

## 《第21回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

### 福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B経済学愛好会」が2度目の優勝

準優勝は初参加の専修大学チーム／個人賞トップは高野美保さん

第21回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、8校13チーム、計94名で競われました。優勝は、福岡カレッジ・オブ・ビジネスの「F・C・B経済学愛好会」チームでした。1400点を獲得して、第19回に次ぎ、2度目の優勝となりました。

準優勝チームは、初参加で1310点を獲得した専修大学「経済学検定演習講座A」チームです。第3位には、1230点を獲得した福島大学の「経済分析同好会K」チームが入りました。「大学対抗戦」個人成績のトップは、400点を得点した福島大学「経済分析同好会K」チームの高野美保さんです。

なお、個人賞は330点以上10名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は260.63点で、前回は13.86点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	F・C・B経済学愛好会	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	1400点	350.0点
準優勝	経済学検定演習講座A	専修大学	1310点	327.5点
第3位	経済分析同好会K	福島大学	1230点	307.5点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

## ■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

### ☆優勝（2度目） 福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B経済学愛好会」

#### E R E 試験の知識を大学編入試験に活かして

今回、E R E ミクロ・マクロ大学対抗戦において優勝という結果を残すことができ、メンバー一同大変嬉しく思っています。

第19回で私達の先輩方が優勝し、我々メンバーも先輩方に負けじと日々の学習に取り組んできました。現在、私達は、大学の3年次編入を目指し勉学に励んでいるのですが、編入試験の対策としての記述力が求められる経済学の勉強と、幅広く、高度な専門知識が求められるE R Eの勉強の両立はとても大変でした。

E R Eの個人の学習方法としては、過去問を何度も繰り返し解き、間違えた問題の分野を参考書等で確認し弱点を克服して知識を身につけるとい形で対策をしてきました。

また、先生方の指導を受けたり、メンバー内で分からない問題を教え合ったりしてきたことで、さらに知識を深めることができ、今回の優勝につながったのだと思います。

E R Eの受験の準備により得た経済学の全般的な知識を活かし大学編入試験に向け、努力していきたいと思えます。

(福岡カレッジ・オブ・ビジネス 大学編入科 夜久昂平さん)

## ☆準優勝 専修大学経済学検定演習講座 A

### 同じ目標を持つ者同士の団結を深めることを目的に

私たちのチームは、メンバー全員が大学で行われている公務員試験講座の受講生で、経済学のさらなる理解と、同じ目標を持つ者同士の団結を深めるということを目的として、今回の大学対抗戦に参加しました。

受験に際しては「経済学検定演習講座」が設けられ、問題演習を中心とした学習に取り組み、分からなかったところは講師の石川秀樹先生に丁寧に解説していただきました。また、授業の空き時間を利用してメンバー同士がお互いに苦手な所を教えあうことで、チーム全体の向上につながりました。

個人的には E R E の受験は 2 度目でしたが、前回と比べて、成長を実感することができました。そして何よりも大学対抗戦で準優勝できたことを大変嬉しく思います。このすばらしい結果に導いてくださった石川秀樹先生、そして今回このような場を設けてくださった大学関係者の皆様には本当に感謝しています。今後も学習を継続して、次回は優勝を狙います。

(専修大学経済学検定演習講座 A 中村天平さん)

## ☆個人賞トップ

### 学ぶことの楽しさを再認識できた受験勉強

今回、個人賞トップという成績を収めることが出来、大変嬉しく思います。丁寧に指導してくださった先生方、そして同じ目標に向かって一緒に取り組んできたゼミの友人たちの支えに、感謝しています。

学習法としては、まず自分で過去問を解き、分からない問題や学部レベルで教わらないような難問は、週 1 回の「E R E 勉強会」や、空いている時間などに友人と教えあったりするなどして、一つ一つの問題を大切にすることを心がけていました。また、インプットした経済理論の知識をアウトプットするには、やはり問題演習の量が必要であると考え、問題演習に重点的に取り組みました。

この取り組みを通して、経済学の知識習得はもちろん、切磋琢磨することの大切さや、学ぶことの楽しさを再認識できたと思います。

E R E を受験することで、経済学の理解が深まるとともに、より一層経済学が好きになりました。今後もより意欲的に頑張っていこうと考えます。

(福島大学経済分析同好会 K 高野美保さん)

## 第22回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2014年12月7日(日)実施 ●受付期間：2014年9月22日(月)～10月24日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した50校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／  
大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／九州大学／  
京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／  
札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／中央大学／  
筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／同志社大学／  
東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／  
名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／  
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／  
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学

## ▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に15の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております。少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

### ●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

### ●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

### ●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

### ●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

### ■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

## 就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

### ■特徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

### ■出題科目等

#### 〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／  
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

#### 〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

### ■活用例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

### ■備考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国15の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

#### 《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21  
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

## 2014年度 第27回 E R E 実施要領

### 『E R E』（6科目）

実施回	第 27 回
試験日	2014年12月7日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2014年9月22日（月）～2014年10月24日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

### 『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 27 回
試験日	2014年12月7日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2014年9月22日（月）～2014年10月24日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

## 2014年12月受験用 E R E 経済学検定試験 問題集

- 第23回～第26回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編  
A 5判 304頁 予価1,900円＋税